

冊長

副官

主任

主任

主任

廣
慶

駐北地慰勞會所規定

昭和十八年五月十八日
駐北地慰勞會所

18.6
第150號

い	四
ろ	六

目次

- 第一章 總則
- 第二章 經營
- 第三章 衛生
- 第四章 雜則及其他

駐屯地慰安所ニ關スル規定

第一章 總則

第一條 本規定ハ駐屯地慰安所ニ關スル必要ナル事項

第二條 慰安所ハ日本軍人軍屬於テ使用スルヲ本則ト

スルモ軍人軍屬ノ使用ニ支障ヲ與ヘサル限度ニ於テ左記各項ヲ嚴守シ上當分ノ中「シダレ」在住ノ日本人ハ二四三〇以前以降ニ限リ特ニ登樓ヲ許可ス從ツテ二四三〇以前ニ於ケル立入りハ之ヲ嚴禁ス

左記

1. 軍人軍屬ノ遊興ヲ妨害セサルヲト
2. 規則ニ違反シ又ハ風紀ヲ紊ムカ如キ行為ヲナサルヲ
3. 登樓時刻以前ニ於ケル豫約ヲ嚴禁ス

料金ハ總テ將校ノ額トス

前各項ニ違背セ者ニ對シテハ許可證ヲ引上ケ爾後之ヲ禁止スル外其ノ行為ノ如何ニ據リテハ其ノ商社ハモトヨリ日本人全部ヲ禁止スルベシ

但シ奧地等ヨリ來變者ニシテ右ノ時間以降ニ登樓シ得サル特別ノ事情アルモニ限リ日本人會長ハ自己ノ責任ヲ以テ其ノ都度豫定時間資格氏名等ヲ記入セシ證明書ヲ本人ニ交付シ之ヲ樓主ニ明示スルニ依リ開業時間内適當登樓スルヲ得

第三條 本規定ニ將校トナルハ准士官見習士官及高等文官

同待遇囑託ニ又下士官トナルハ判任文官同待遇囑託同雇員ニ兵トナルハ待遇ヲ定メサル囑託同雇員及傭人ニ適用ス

第四條

慰安所ニ於ケル軍紀風紀及非違行為取締リハ巡察將校又駐屯地司令部娛樂係將校下士官ヲ以テ

日本人會長

在任中

1. 將校トナルハ

2. 判任文官

3. 兵トナルハ

4. 傭人

本則トス

第五條 慰安所使用日ハ下士官兵ニテハ各隊外出日

第六條 慰安所ニ出入スル下士官兵ハ外出証ヲ有スルモ限リ
且ソ部隊ノ規定ニテ部隊標識及階級章ヲ附スル
モトス 慰安所内ニ掲示シル注意事項ヲ嚴守スル
モトス

第七條 慰安所ヲテ營業者ハ慰安婦ヲ不當ニ取扱フ
受急力或ハ金錢等ヲ強要ヲ受ケタル場合ハ直チ
ニ其旨ヲ所屬隊長ヲ經テ駐屯地司令部ニ報告
スルモトス 如何ニ場合ハ雖モ殴打暴行等所為
アルベカラズ

第八條 慰安所内ニ於テ規定ヲ履行セザル者ハ直チ其
使用ヲ禁止スルモトス 駐屯地會報ヲ以テ被
告知シ要スル當該部隊使用ヲ一時停止スルモトス

第二章 經營

第九條 慰安所ニ於ケル料金ハ軍令定ル軍票ニ依ルモノト
シ其他物品ヲ以テテスモノヲ得ス

第十條 慰安所使用時間及料金ハ別紙第一ニ據ルモ
狀況ニ依リ変更スルコトアリ

第十一條 慰安所經營者ハ各慰安婦室ノ合並見易キ箇所
ニ木札ヲ以テ慰安婦ノ藝名及合不合格ヲ揭示シ置
クモトス

第十二條 設備費及患者ノ治療費ハ總テ經營者ノ負擔トス
モ當該關スル簡單ナル設備ハ軍令於テ實施スルコ
トアリ

第十三條 經營者其ノ月費高ク翌月五日迄別紙第二

第十四條 二様式ニ據リ駐屯地司令部ニ提出スルモノトス
貨物廠等ヲ交付ヲ受クハキ調味品類其他ノ
必需品并要テ月前ニ駐屯地司令部ニ請求スル
モノトス

第三章 衛生

第十五條 慰安所ニ必ス消毒所ヲ經營者ニ依リ設置スル
モノトス

第十六條 消毒所ノ消毒設備ハ灌水器ニ萬倍ノ過リノ剝液
ヲ滿テシ置クモノトス

第十七條 消毒所(星校膏)ヲ使用セラル者ハ遊興セシムサルモ
イハス

第十八條 遊興者及其相方ハ毎回消毒所ニ於テ確實ニ消毒
ヲ行ハスモノトス

第十九條 慰安婦ノ健康ニ就イテハ經營者ハ特ニ注意シテ營業
開始前慰安婦ヲシテ軍ノ實施スル一般身体検査
及局部検査ヲ受ケシムルモノトス

第二十條 毎週一回慰安婦ノ身体検査ヲ實施シ其ノ程度依
リ左ノ如ク區分シ其ノ証票ヲ慰安婦ニ所持セシムルモノ
トス

左記

合格 營業ヲ許可セラル者
不合格 休業スル者

第二十一條 經營者(慰安婦)ハ軍人軍屬ヨリ毎週ノ検査成績
提示ヲ要求セラル時ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第四章 雜則及其他

第二十二條 管理部隊別紙第三慰安所注意事項ヲ營業

第三條 所ニ揭示スルモノトス
慰安婦、他出ニ際シテハ經營者ニ証印アル他出証
ヲ携行セシムルモノトス

別紙第一

慰安所使用時間及遊興料金表

備考	將校		下士官		兵		區分
	至	自	至	自	至	自	時間
商社関係使用者は規定第2條ヲ嚴守スルモノトス	八	二	一	一	一	一	遊興時間
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	遊興料金
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
	八	二	一	一	一	一	遊興時間
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	遊興料金
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
	八	二	一	一	一	一	遊興時間
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	遊興料金
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	

別紙第三

至月日慰安所賣上高報告
慰安所名
經營者氏名

印

區分遊興人員賣上高摘要

將校

下士官

兵

計

備一現在之慰安婦名ヲ本欄ニ記入スルモノトス

考

別紙第三

慰安所ニ於ケル軍人軍屬其他使用者守ル可キ

注意事項

- 一 大日本帝國軍人軍屬及日本人タル事ヲ自覺シ其威信ヲ失墜スルカ如キ行為ヲナサハルコト
- 二 特ニ防諜ニ注意スルコト
- 三 慰安所ニ於テ使用スル通貨ハ「ルビ」又ハ「ドル」軍票タルヘキコト
- 四 料金規定料金表ヨリ現金ニテ豫メ支拂ヒタル後遊興ヲナスヘキコト
- 五 過度ノ飲酒者ハ遊興セザルコト
- 六 従業員(慰安婦ヲ含ム)ニ對シ粗暴ノ振舞ヲナサハルコト
- 七 ヲツク(屋敷膏)ヲ必ズ使用シ確實ニ洗滌ヲ行ヒ性病予防ヲ完全ナラシムコト
- 八 規定ノ時間ヲ嚴守スルコト

昭和 年 月 日

駐屯地司令部

